平川恒太《Trinitite - シンガポール最後の日（ブキ・テマ高地）》2018年 作家蔵

ARTIST FOCUS #02

平川恒太 - Cemetery 祈りのケイショウ

HIRAKAWA KOTA - Cemetery / Inori no Keisho

2022（令和4）年1月2日（日）～2月25日（金） 9:00～17:00 ＊入場は16:30まで

観覧料｜一般 370（290）円　大学生 260（200）円　高校生以下無料

＊観覧料はすべて消費税込価格　＊（　）内は 20 名以上の団体料金　＊年間観覧券ご持参の方は無料
＊身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者（1名）、高知県及び高知市長寿手帳所持者は無料
＊「奥谷博―無窮へ（～1/16）」、「コレクター福富太郎の眼（1/29～）」展観覧券所持者は無料（当日限り有効）　＊本展観覧券で他のコレクション展も併せてご覧いただけます

主　催｜高知県立美術館　　後　援｜高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB 高知ケーブルテレビ、エフエム高知
助　成｜公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人熊谷正寿文化財団　　協　力｜ターナー色彩株式会社

高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI
781-8123 高知市高須353-2 ☎088-866-8000 088-866-8008 moak.jp

ARTIST FOCUS #02

平川恒太 - Cemetery 祈りのケイショウ

HIRAKAWA KOTA - Cemetery / Inori no Keisho

「ARTIST FOCUS」の第 2 回として、
高知県田野町出身の作家、平川恒太の個展を開催します。

戦争や原爆、原子力発電所事故といった人類の負の記憶を、
いかに形象化(ケイショウ)し、警鐘(ケイショウ)を鳴らし、継承(ケイショウ)していくか。
3 つの意味を持たせるため、あえてカタカナの「ケイショウ」をテーマに掲げる平川は、
絵画を中心に様々なメディアを駆使してコンセプチュアルな制作を展開してきました。
本展では、日本の戦後美術史において長らくタブー視されてきた
「戦争画」を黒絵具だけを使って描き直した《Trinitite》をはじめ、
19 世紀の画家アルノルト・ベックリンや
小説家の福永武彦による作品から想を得た《死の島》など、
作家の代表シリーズを初公開の新作を交えてご紹介します。

歴史的な事件、または古今東西の美術・文学から引用した
イメージや言葉が幾層にも重ねられた平川の作品は、
多様な読み解きの可能性が開かれています。
たとえば作家自らが付けた Cemetery ―「墓」を意味する展覧会名は、
しばしば美術館が、作品が最終的に行き着く墓所に喩えられてきたことを想起させます。
一方で、墓は生者が死者を弔い、祈りを捧げる場所に違いありません。
美術館を墓＝祈りの場に見立てたうえで提示される作品には、
その昏(くら)さの奥に、平和を希求する思いが通底しています。
複数の解釈を呼び起こす平川の表現を前に、鑑賞者各々が思索を深め、
自分だけの気づきを持ち帰っていただくことを願っています。

平川 恒太（ひらかわ・こうた）

1987 年、高知県田野町生まれ。2013 年、東京藝術大学大学院絵画専攻修了。埼玉県在住。近年の主な個展に 2021 年の「Talk to the silence」（カスヤの森現代美術館）、18 年の「悪のボルテージが上昇するか 21 世紀」（福沢一郎記念館）、グループ展に 20 年の「さいたま国際芸術祭 2020」（メインサイト［旧大宮区役所］）、18 年の「カタストロフと美術のちから」（森美術館）などがある。

「ARTIST FOCUS（アーティスト フォーカス）」とは・・・ジャンルや年齢を問わず、当館学芸員が推薦した高知ゆかりの作家を紹介する展覧会シリーズ

《Black color timer》2016-17 年 タグチ・アートコレクション

関連イベント

要事前申込 ①アーティスト・トーク［参加無料（要観覧券）］

美術館の閉館後、作家が会場で作品を前に、これまでの活動や制作意図についてお話しします。

日　程｜1 月 22 日（土）　17：15～
定　員｜25 名（先着順）　場　所｜高知県立美術館 1 階 第 4 展示室
申込方法｜1 月 21 日（金）までにお電話（088-866-8000）にてお申し込みください。

要事前申込 ②対談：平川恒太氏 × 学芸員［参加無料］

作家と担当学芸員による対談形式で、本展にまつわるエピソードをお話しします。

日　程｜2 月 19 日（土）　14：00～
登壇者｜平川恒太、塚本麻莉（本展担当学芸員）
定　員｜20 名（先着順）　場　所｜高知県立美術館 1 階 講義室
申込方法｜2 月 18 日（金）までにお電話（088-866-8000）にてお申し込みください。

●サテライト展示　平川恒太 個展「ライフ・フォーム」

本展関連企画として、すさきまちかどギャラリー／旧三浦邸でも平川の個展を開催します。人間と生物との平和的な共生の在り方を問いかける絵画シリーズ《森の茶会》の作品をご紹介します。1 月 8 日（土）にはお茶会イベントも開催。イベントの詳細は当館及びすさきまちかどギャラリーのウェブサイト・SNS で公表します。

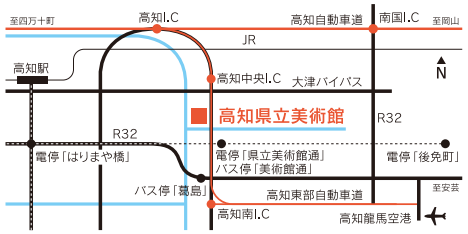
日　時｜1 月 4 日（火）～15 日（土）　※11 日（火）は休館
　　9：00 ～ 17：00（入場は 16：30 まで）
主　催｜すさきまちかどギャラリー／旧三浦邸、高知県立美術館
場　所｜高知県須崎市青木町 1-16
お問い合わせ｜050-8803-8668

●本展およびイベントは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更となる場合がございます。最新情報は当館 WEB をご確認ください。

《死の島（第五福竜丸）》2018 年 タグチ・アートコレクション

《死の島（長崎）》2018 年 タグチ・アートコレクション

《死の島（広島）》2018 年 タグチ・アートコレクション



高知県立美術館へのアクセス

■とさでん交通路面電車「はりまや橋」から「ごめん」「領石通」「文珠通」行きで 15 分、「県立美術館通」下車徒歩 5 分■高知龍馬空港からは、高知市内―空港間を結ぶとさでん交通の空港連絡バスをご利用いただけます。バス停「葛島」で下車徒歩 16 分■車・タクシーをご利用の場合は、JR 高知駅から 15 分、高知龍馬空港から 20 分、高知インターから 10 分（高知東部自動車道方面からは降りられません）、高知中央インターから 3 分、高知南インターから 10 分